

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公表番号】特表2011-505489(P2011-505489A)
【公表日】平成23年2月24日 (2011.2.24)
【年通号数】公開・登録公報2011-008
【出願番号】特願2010-537002(P2010-537002)
【国際特許分類】

C 0 8 L 23/08 (2006.01)
C 0 8 L 33/02 (2006.01)
B 6 5 D 65/40 (2006.01)
B 6 5 D 85/50 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 23/08
C 0 8 L 33/02
B 6 5 D 65/40 F
B 6 5 D 85/50 A
B 6 5 D 85/50 C

【手続補正書】
【提出日】平成23年11月25日 (2011.11.25)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 0 0
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 1 0 0】
【表 4】

表 4			
実施例	%	実施例	%
1	96	7	62
2	95	8	4
3	62	9	57
4	94	10	5
5	94	11	5
6	69	12	30

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1 エチレン含有ポリマーとカリウム含有組成物とを含むまたはそれらから製造される組成物であって、

前記エチレン含有ポリマーが少なくとも 1 つのエチレンコポリマー、少なくとも 1 つの酸コポリマー、酸コポリマーに由来する少なくとも 1 つのアイオノマー、またはそれらの 2 つ以上の組み合わせを含み；前記エチレンコポリマーがエチレンと、酢酸ビニル、アルキルアクリレート、アルキルメタクリレート、およびそれらの 2 つ以上の組み合わせからなる群から選択されるモノマーとに由来する共重合単位または繰り返し単位を含み；前記酸コポリマーがエチレンとアクリル酸、メタクリル酸、またはそれらの組み合わせとに由来する共重合単位または繰り返し単位を含み；前記アイオノマーがカリウム以外の陽イオンで中和されており；

前記カリウム含有組成物が極性コポリマーを含み、かつ極性化合物、ポリオール、また

はそれらの組み合わせを含んでいてもよく；前記極性コポリマーがエチレン酸コポリマー、エチレン酸コポリマーのアイオノマー、またはそれらの組み合わせを含み；前記エチレン酸コポリマーがエチレン、および少なくとも1つのC₃₋₈ α, β-エチレン性不飽和カルボン酸に由来する共重合単位または繰り返し単位を含み、アルキルアクリレート、アルキルメタクリレート、またはそれらの組み合わせを含むモノマーを含んでいてもよく；前記アルキル基が1～8個の炭素原子を有し；前記不飽和カルボン酸に由来する単位が、前記エチレン酸コポリマーの重量を基準として、約3～約35重量%であり；前記極性化合物が脂肪族有機カルボン酸、前記酸の塩、またはそれらの組み合わせからなる群から選択され；前記酸が36個より少ない炭素原子を有し；前記極性コポリマーの、または存在するときは前記極性化合物の、または前記エチレン酸コポリマーおよび前記極性コポリマーの両方のカルボン酸部分の80%超が、カリウム陽イオンで中和されるか、またはカリウム陽イオンとアルカリ金属、遷移金属、およびアルカリ土類金属陽イオンの1つ以上との組み合わせであって、陽イオンの中でカリウムが最も多い組み合わせで中和されており；前記ポリオールが少なくとも3個のヒドロキシル部分を有する、
組成物。

2 前記エチレン含有ポリマーと前記エチレン酸コポリマーとから本質的になる上記1に記載の組成物であって、エチレン酸コポリマー成分のすべて合わせたカルボン酸部分の80%超がカリウム陽イオンで中和されるか、またはカリウム陽イオンとアルカリ金属、遷移金属、もしくはアルカリ土類金属陽イオンの1つ以上との組み合わせであって、陽イオンの中でカリウムが最も多い組み合わせで中和されている組成物。

3 前記エチレン含有ポリマーがエチレン酢酸ビニルコポリマーまたはエチレンアルキルアクリレートコポリマーである上記1または2に記載の組成物。

4 前記エチレン含有ポリマーがエチレンメチルアクリレートコポリマーである上記1または2に記載の組成物。

5 前記エチレン含有ポリマー、前記エチレン酸コポリマー、および前記ポリオールから本質的になる上記1に記載の組成物であって、エチレン酸コポリマー成分のすべて合わせたカルボン酸部分の80%超がカリウム陽イオンで中和されるか、またはカリウム陽イオンとアルカリ金属、遷移金属、もしくはアルカリ土類金属陽イオンの1つ以上との組み合わせであって、陽イオンの中でカリウムが最も多い組み合わせで中和されている組成物。

6 前記エチレン含有ポリマーがエチレン酢酸ビニルコポリマーまたはエチレンアルキルアクリレートコポリマーである上記1または5に記載の組成物。

7 前記エチレン含有ポリマーがエチレンメチルアクリレートコポリマーである上記1または5に記載の組成物。

8 前記エチレン含有ポリマーがエチレンアクリル酸アイオノマーまたはエチレンメタクリル酸アイオノマーであり；前記アイオノマーがカリウム以外の陽イオンでまた中和されている上記5に記載の組成物。

9 フィルムもしくはシート、造形もしくは成形品、またはそれらの組み合わせを含む、組成物を含むまたはそれから製造された物品であって；フィルムもしくはシートには単層構造体または多層構造体が含まれ；前記組成物が上記1、2、3、4、5、6、7、または8に特徴付けられる通りである物品。

10 モノリシックまたは単層構造体を含む上記9に記載の物品。

11 多層構造体を含み、この構造体の少なくとも1つの層が組成物を含むかまたはそれから製造される上記9に記載の物品。

12 単層フィルムもしくはシート、または多層フィルムもしくはシートもしくは組成物を含むまたはそれらから製造されたパッケージであって、単層フィルムもしくはシートが上記10に記載される通りであり、多層フィルムもしくはシートが上記11に記載される通りであり、組成物が上記1、2、3、4、5、6、7、または8に特徴付けられる通りであるパッケージ。

13 腐りやすい食料をさらに含む上記11に記載のパッケージ。

14 1つ以上の制御セクションを含む容器を含む上記12または13に記載のパッケージ。

ジであって、容器が空気を取り囲まれており；酸素、二酸化炭素、もしくは水蒸気が専ら前記セクションを通して前記パッケージに出入りし；そして前記容器が活発に呼吸する生体物質を含むパッケージ。

1 5 前記生体物質が食品または花であり、前記食品が好ましくは生鮮食品である上記 1 4 に記載のパッケージ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エチレン含有ポリマーとカリウム含有組成物とを含むまたはそれらから製造される組成物であって、

前記エチレン含有ポリマーがエチレン酢酸ビニルコポリマー、酸コポリマー、酸コポリマーに由来するアイオノマー、またはエチレンアルキルアクリレートコポリマーであり；前記酸コポリマーがエチレンとアクリル酸、メタクリル酸、またはそれらの組み合わせとに由来する共重合単位または繰り返し単位を含み；前記アイオノマーがカリウム以外の陽イオンで中和されており；

前記カリウム含有組成物がエチレン酸コポリマーのアイオノマーを含み、かつ極性化合物、ポリオール、またはそれらの組み合わせを含んでもよく；前記エチレン酸コポリマーがエチレン、少なくとも 1 つの C_{3-8} α , β -エチレン性不飽和カルボン酸、および任意選択的にコモノマーに由来する共重合単位または繰り返し単位を含み；前記エチレン酸コポリマーの、または存在するときは前記極性化合物の、または前記エチレン酸コポリマーおよび前記極性化合物の両方のカルボン酸部分の 80% 超がカリウム陽イオンで、またはカリウムが陽イオンの圧倒的多数を占めるカリウムと 1 つ以上のアルカリ金属、遷移金属、およびアルカリ土類金属陽イオンとの組み合わせで中和されており；前記極性化合物が、酸が 3 6 個より少ない炭素原子を有する、脂肪族有機カルボン酸、前記有機カルボン酸の塩、またはそれらの組み合わせからなる群から選択され；そして前記ポリオールが少なくとも 3 個のヒドロキシル部分を有する、組成物。

【請求項 2】

前記カリウム含有組成物が前記ポリオール、前記極性化合物、またはその両方をさらに含み、この組成物から製造されたフィルムもしくはシートが $8,000 \text{ cc} \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{日}$ を超える酸素透過値 (OPV) を有する請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

組成物を含むまたはそれから製造される物品であって、

前記物品がフィルムもしくはシート、造形もしくは成形品、またはそれらの組み合わせを含み；

前記フィルムもしくはシートには単層構造体または多層構造体が含まれ；

前記単層構造体または多層構造体がモノリシック構造体であってもよく；

前記組成物が請求項 1 または 2 に特徴付けられる通りである物品。

【請求項 4】

請求項 3 に特徴付けられる物品または、請求項 1 または 2 に特徴付けられる通りである組成物を含むまたはそれらから製造されたパッケージであって；腐りやすい食料をさらに含んでもよく；空気を取り囲まれている 1 つ以上の制御セクションをさらに含んでもよく；酸素、二酸化炭素、または水蒸気が専らこのセクションを通してパッケージに出入りし、活発に呼吸する生体物質を含むパッケージ。